



●企画書の送付

FORMULA-SAE HOKKAIDO TEAM 2010 企画書

北海道大学フォーミュラチーム

12月の月末に‘09年度にお世話になったスポンサー様や新たにFHTにご興味を持って頂いた企業の方に2010年度の企画書を送付させて頂きました。内容はFHTの活動内容、全日本学生フォーミュラ大会、チーム目標、車両コンセプト、年間スケジュールなどとなっております。

企画書の一部をホームページでも公開しておりますので、是非ご覧になって下さい。（文責：芝池）

●設計を終えて

設計を終えた各班からのコメントを紹介します。

●エンジン班

2010年度へ向けてエンジン班は、主に2009年度マシンの問題を解決することを目標に、最小限の設計変更をしています。燃料タンクは安定して燃料供給できるように内部構造を工夫しました。エキパイはレギュレーション変更に合わせて片側に集め、それに伴いラジエターも片側1つに変更しました。それぞれ試行錯誤の繰り返しでしたが、何がベストなのかという判断はとても難しいと感じました。まだ完全に煮詰め切れていないパーツもありますが、すでに製作を始めています。早期のシェイクダウンができるよう、頑張っていきたいと思います。（文責：山内）

•サスペンション班

今年度のサスペンションの設計はチームのテーマであるMaturingにならない、テスト走行の結果から大きな変更は必要ないと判断し昨年度のマシンからの変更は少なく、新たな問題が出ないように心掛け、また既存の問題を解決するよう心がけました。

まず、旋回性向上のためにフロントロールセンターを下げています。テスト走行で試験した状態で良い印象を得たのでその高さまで下げるように努力しましたが、ホイール周りのジオメトリの変更をしないなどの制約でそこまで下がってはいません。もう少しExcelをうまく使えばロールセンターを目標値まで下げられたかもしれませんが締め切りになってしまったので設計を終えました。来年の課題です。

そのほかにダンパーの配置の最適化、ベルクランクの軽量化、スタビライザーの設計などを行っています。ステアリングシャフト周りの3D化も今年度は行い、図面のないパーツがなくなる予定です。
(文責: 渡邊一希)

•フレーム班

今年度フレーム班は、主にフレーム・ペダル・シフト・インパクトアッテネーター・カウルを担当しました。設計の際には、以下のような事を考えました。

「フレーム」...先代マシンFH03の形を参考に、あまり大幅な変更はせず、マイナーチェンジのような感じで設計しました。

「ペダル」...昨年度の2ペダルから3ペダルに変更し、操作性の向上を目指しました。

「シフト」...昨年度上手く作動しなかったパドルシフトを、修正をして再挑戦しようと考えています。

「インパクトアッテネーター」...今までの性能を維持しながら、小型化を図ります。

「カウル」...去年腰までしかなかったサイドポンツーンを、肘の部分まで高くしようと考えています。

(文責: 渡邊翔)